

株式会社システムリサーチ

2021 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会

2020 年 11 月 16 日

イベント概要

[企業名]	株式会社システムリサーチ
[企業 ID]	3771
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2020 年度　第 2 四半期
[日程]	2020 年 11 月 16 日
[ページ数]	38
[時間]	13:30 – 14:23 （合計：53 分、登壇：47 分、質疑応答：6 分）
[開催場所]	103-0026　東京都中央区日本橋兜町 3-3　兜町平和ビル 2 階 第 2 セミナールーム　（日本証券アナリスト協会主催）
[会場面積]	145 ㎡
[出席人数]	10 名
[登壇者]	3 名 代表取締役社長　平山　宏　（以下、平山） 執行役員 広報室ゼネラルマネージャー　鳥居　文孝　（以下、鳥居）

執行役員 経営企画部ゼネラルマネージャー

太田　吉信　　（以下、太田）

登壇

司会：皆様こんにちは。定刻となりましたので、ただ今から株式会社システムリサーチ様の IR ミーティングを開催いたします。

最初に、会社からお迎えしているお三方、ご紹介申し上げます。

代表取締役社長、平山宏様。

平山：平山です。よろしくお願いします。

司会：執行役員、広報室ゼネラルマネージャー、鳥居文孝様。

鳥居：鳥居です。よろしくお願いいたします。

司会：執行役員、経営企画部ゼネラルマネージャー、太田吉信様。

太田：太田です。よろしくお願いいたします。

司会：本日は平山社長様からご説明をいただき、その後説明が終わりましたら質疑応答の時間を設けさせていただきます。

それでは平山様、よろしくお願いいたします。

平山：こんにちは。システムリサーチの平山でございます。

2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明会を始めさせていただきます。

本日の説明内容は、会社概要、2021 年 3 月期第 2 四半期業績、2021 年 3 月期業績見通し、基本方針と働き方改革等の取組み、中期経営計画と当社ソリューションの紹介、この順番でご説明させていただきます。

会社概要

設立	1981年3月（昭和56年3月）
上場証券取引所	東証一部（2016年12月）
代表者	代表取締役会長　山田敏行　　代表取締役社長　平山　宏
資本金	5億5，015万円
連結従業員数	1，097名（2020年9月30日現在）、平均年齢33．2歳
連結子会社	1社（株式会社ソエル）
主な株主	山田敏行（16.34%）、従業員持株会（7.50%）（2020年9月30日現在）

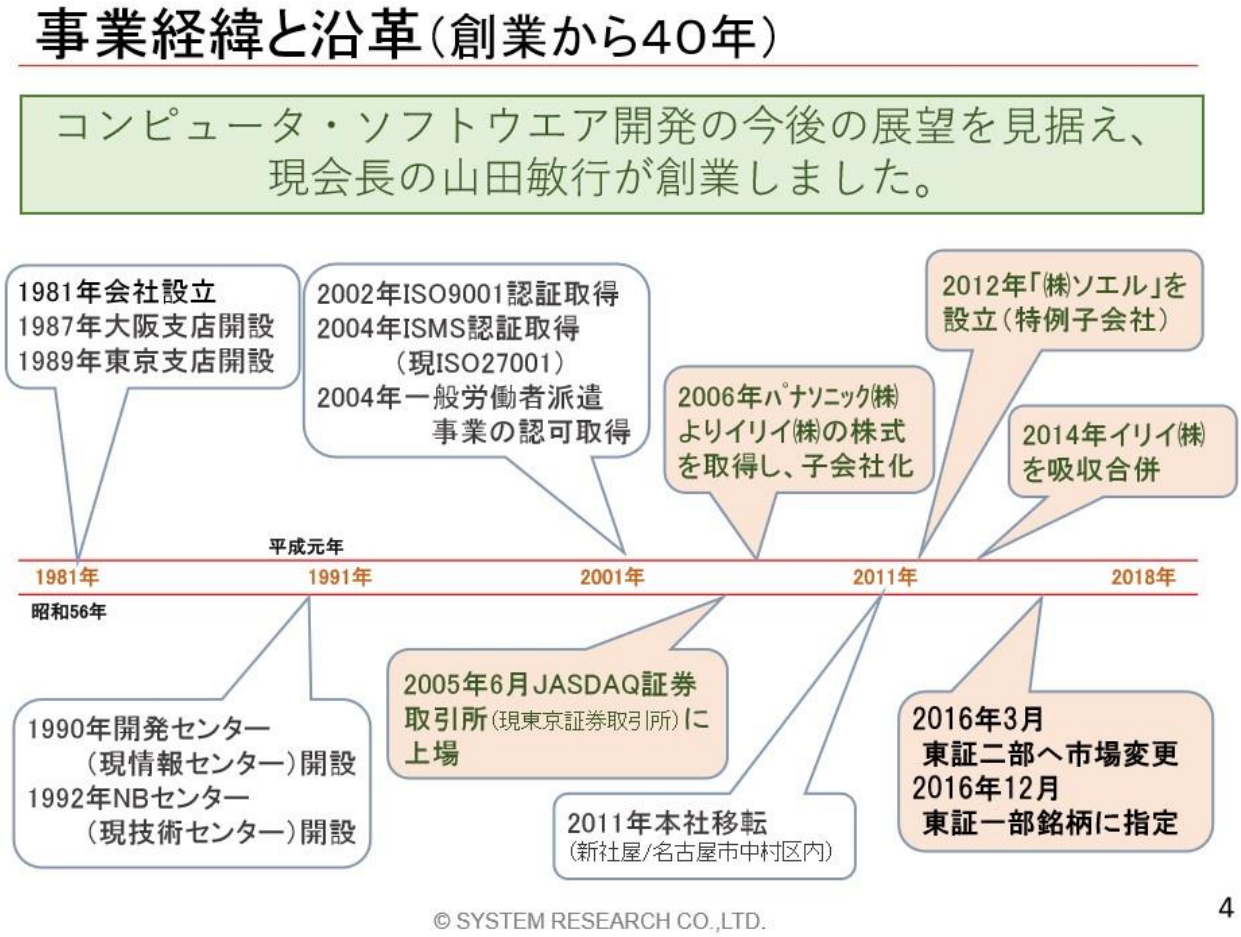
© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

3

それでは簡単に会社概要から、説明させて頂きます。設立は 1981 年 3 月でございます。現在東証一部に上場しております。2016 年 12 月に東証一部に上場いたしました。代表者は代表取締役会長、創業者の山田敏行、代表取締役社長の私、平山宏でございます。

資本金は 5 億 5,015 万円。連結従業員数 1,097 名。今年の 9 月 30 日現在でございます。平均年齢は 33.2 歳と、比較的若い会社でございます。

連結子会社は 1 社、株式会社ソエルでございます。主な株主は山田敏行、従業員持株会となっております。



続きまして事業経緯と沿革でございます。オレンジの部分を説明させていただきます。

先ほど申し上げましたように会社設立は 1981 年でございます。2005 年 6 月 JASDAQ に上場しております。2006 年 10 月松下電器産業、現在のパナソニックさんよりイリイ株式会社を取得して子会社としております。100%子会社です。

2012 年 12 月、障碍者の安定的な職場確保を図るため、障碍者を主体とするソフトウエア開発会社、株式会社ソエルを設立しております。特例子会社として位置づけております。

2014 年 10 月、2006 年に子会社化したイリイを吸収合併して、現在イリイソリューション部という形で、中に取り込んでおります。

2016 年 3 月、東京証券取引所二部に市場変更しております。同年 12 月、一部銘柄に指定されました。



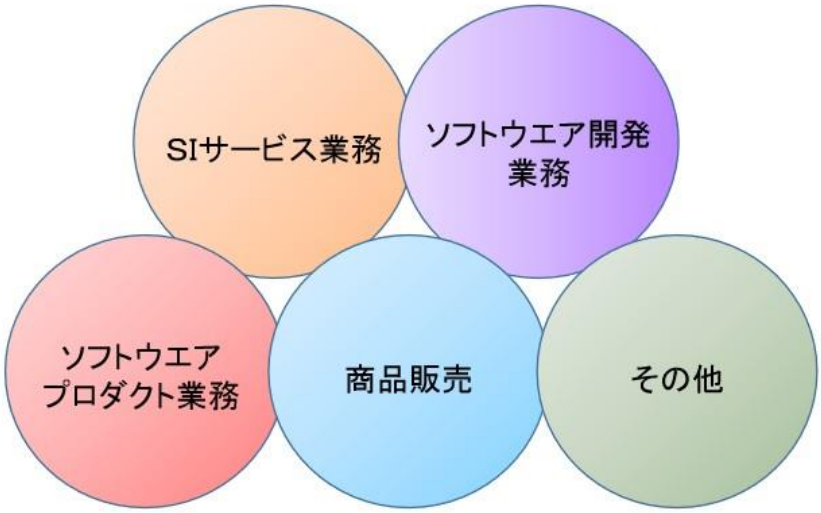
続きまして、事業所・営業拠点でございますが、本社は愛知県名古屋市にございます。

主な業務拠点としては、本社の名古屋、東京、大阪にオフィスを置いております。イリイソリューション部の営業拠点として、東京の他、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡にオフィスを構えて、営業活動等をサポートしております。

ソエルにつきましては、障碍者を雇用する特例子会社となっておりまして、岐阜県大垣市のソフトピアジャパンというところで開発業務を行っております。

連結で総勢 1,097 名でございます。2021 年 4 月新入社員の採用はほぼ終了しており、130 名以上を予定しております。

事業内容



◆SIサービス業務
請負契約にて、顧客の情報化ニーズに応え、情報システムを提案・開発・構築

◆ソフトウエア開発業務
大手企業を中心に、準委任契約や派遣契約による常駐型等による企業の基幹業務のシステム開発やメンテナンス業務

◆ソフトウエアプロダクト業務
不特定ユーザー向けのプログラム作成、販売および保守
CTIとCRMを中心に展開

◆商品販売
PCやネットワーク機器など情報機器、ソフトウエア等の商品仕入販売

◆その他
WEBサイトの運営ならびにクラウドサービス(SaaS)等

➢ 当社グループは、ソフトウエア関連事業の単一セグメントであるため、業務区分別で業績をお伝えしております。

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

続きまして事業内容です。

事業内容は SI サービス業務、ソフトウエア開発業務、ソフトウエアプロダクト業務、商品販売、その他になっております。

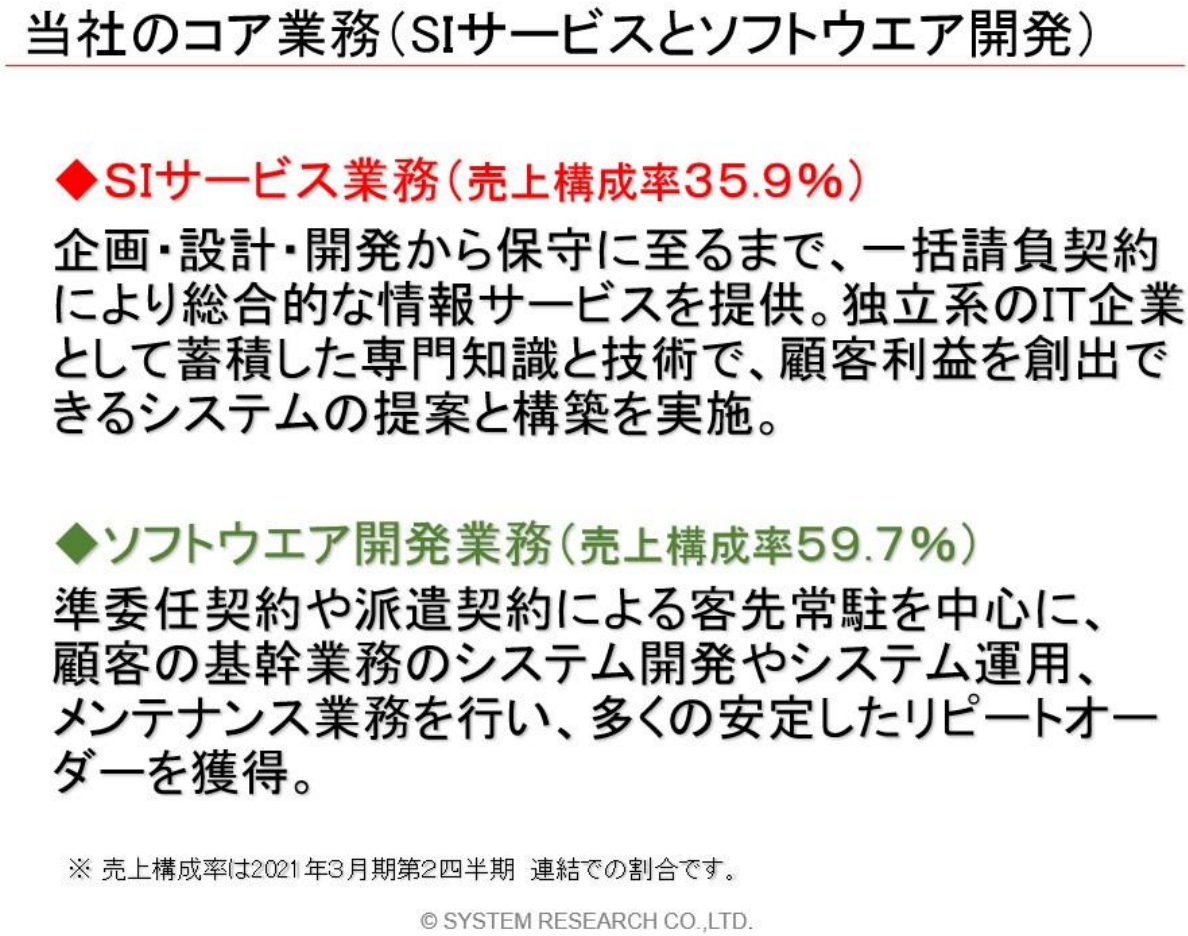
SI サービス業務は請負契約にて、お客様の情報化ニーズに応えて提案し開発・構築する、一括の契約方式になっております。

ソフトウエア開発業務は、準委任契約や派遣契約による常駐型の技術者の支援、お客様の業務システムの開発やメンテナンスを行う業務であります。

ソフトウエアプロダクト業務は、パッケージ、主に先ほどご説明したイリイソリューション部がメインで行っている業務でございます。

商品販売につきましては、あまり構成としては大きくありませんが、SI サービスやソフトウエアプロダクト業務の中で付随する、ハードウエアやソフトウエアのライセンス等の販売になります。

その他につきましては、WEB サイトの運営で、SaaS 型でクラウドサービスを行っております。



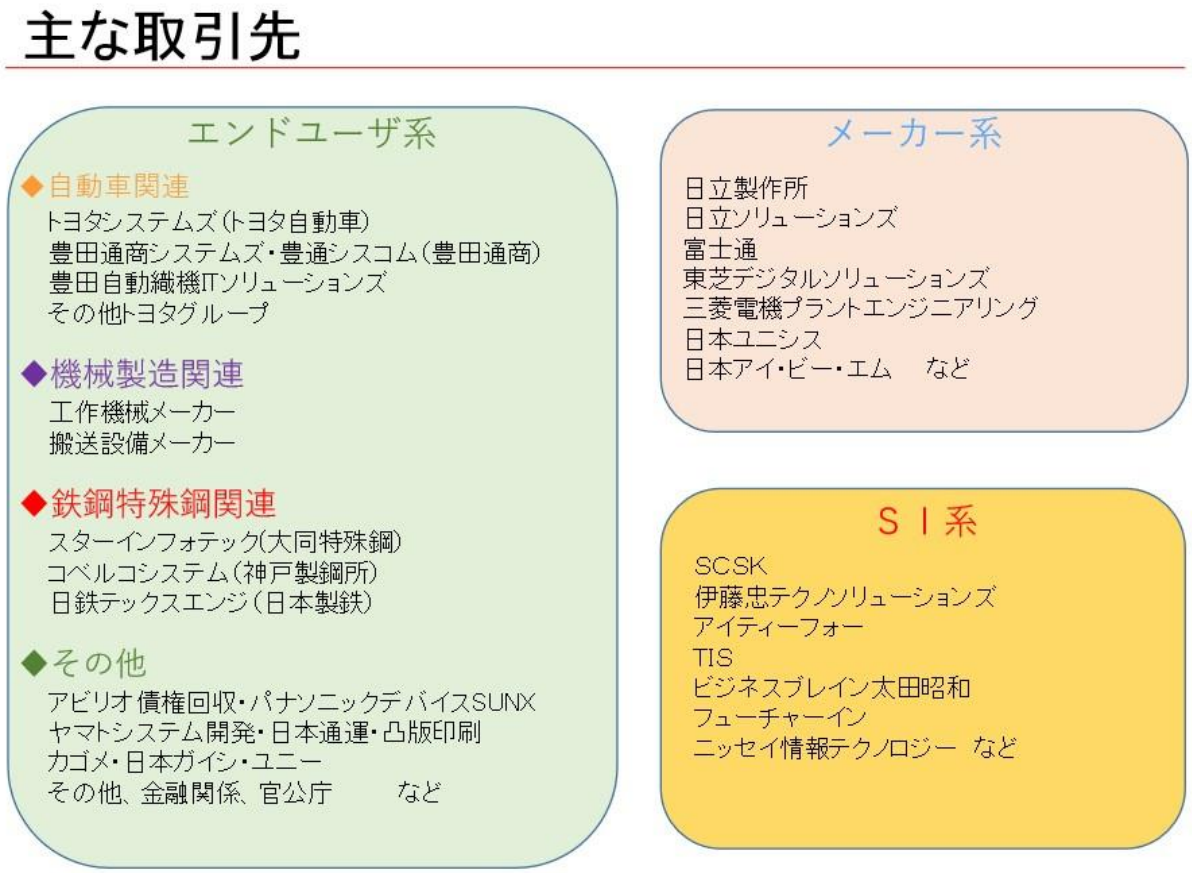
当社のコア業務でございますが、先ほどご説明した事業内容の区分の中で、ほとんどが SI サービス業務とソフトウエア開発業務になっております。

SI サービス業務は 35.9%、ソフトウエア開発業務は 59.7%と、ほぼこの二つで当社のコア業務が成り立っております。

SI サービスとソフトウエア開発が分かりにくいというご質問もありますが、SI サービスのほうは提案型で、競合他社と競争して、お客様のシステム要件に対して提案をし、その内容を一括で契約していく形でございます。

ソフトウエア開発業務のほうは、われわれが SI サービスで一括開発したシステムの維持・メンテナンス、他社で開発したシステムの運用・維持・メンテナンス業務を、準委任契約や派遣契約でサービスの提供をしております。

今は常駐型と言っても、半分以上、テレワークの勤務形態は増えております。



続きまして、主な取引先でございます。

名古屋、愛知県が本社ということもあり、自動車関連では、トヨタ自動車様、豊田通商様、豊田自動織機様、その他トヨタグループになります。機械製造関連では、愛知県は製造業が多いこともあり、オークマ様、ダイフク様、FUJI 様となります。

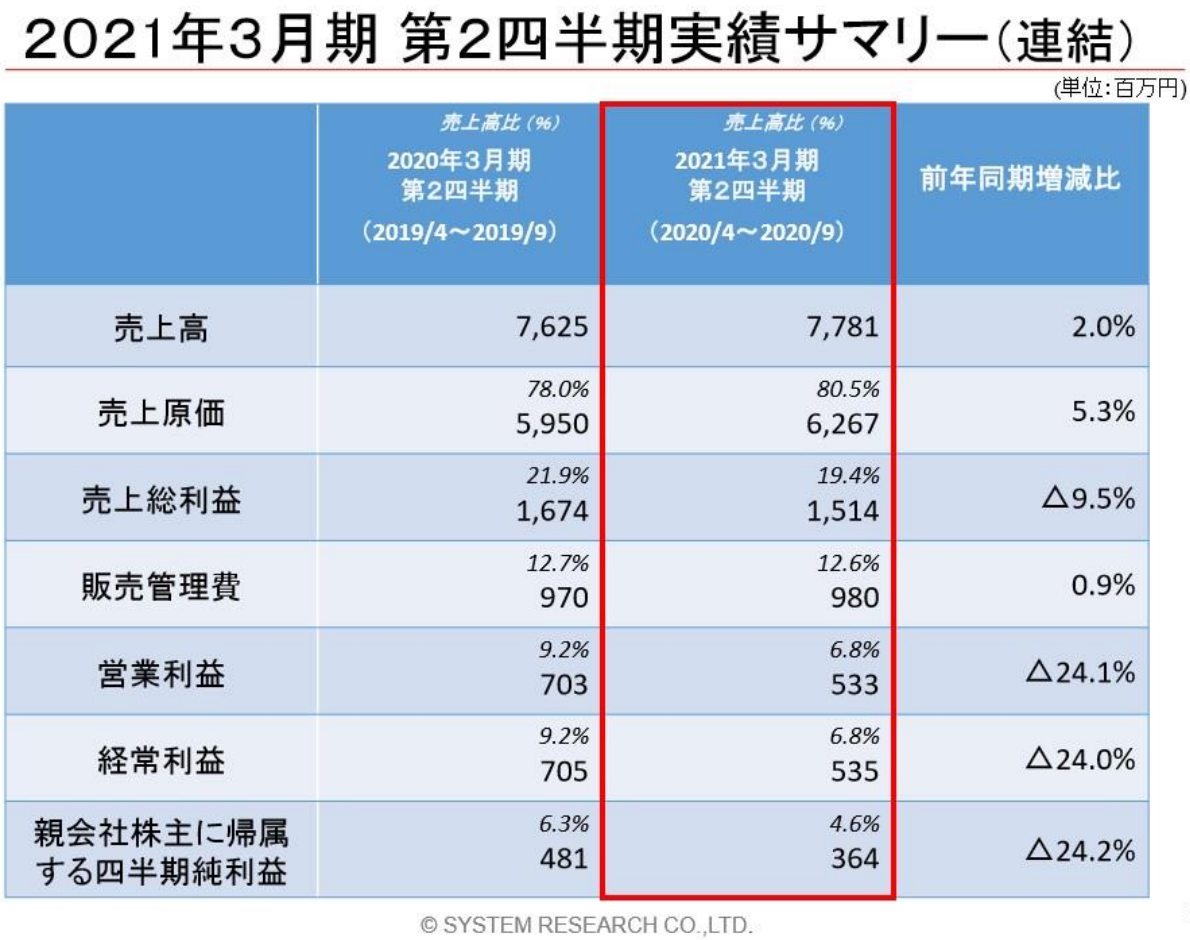
鉄鋼特殊鋼関連では、スターインフォテック様、コベルコシステム様、日鉄テックスエンジ様となります。スターインフォテック様は大同特殊鋼様の情報子会社、コベルコ様は神戸製鋼所様の情報子会社、日鉄テックスエンジ様は日本製鉄様の情報子会社です。

その他、ヤマトシステム開発様、日本通運様、アビリオ債権回収様、パナソニックデバイス SUNX 様、凸版印刷様、カゴメ様、日本ガイシ様、ユニー様などがございます。

以上が、エンドユーザー系のお取引先様です。他にコンピューターメーカー、東芝様、富士通様、日立様、三菱様、日本ユニシス様、日本アイ・ビー・エム様などとのお取引もあります。

それと、同業社になりますが、われわれよりも大手の SI 系の会社である、SCSK 様、伊藤忠テクノソリューションズ様、アイティーフォー様、TIS 様、ビジネスブレイン太田昭和様、フューチャーイン様、ニッセイ情報テクノロジー様などとのお取引もあります。

ちなみにトヨタ様向けのシステムが、この中で構成として売上の約 20%ございます。トヨタ以外のトヨタグループが 15%ぐらいとなります。全体で 35%ぐらいはトヨタ関連のシステム開発を担当しております。



2021年3月期 第2四半期実績サマリー(連結)

(単位:百万円)

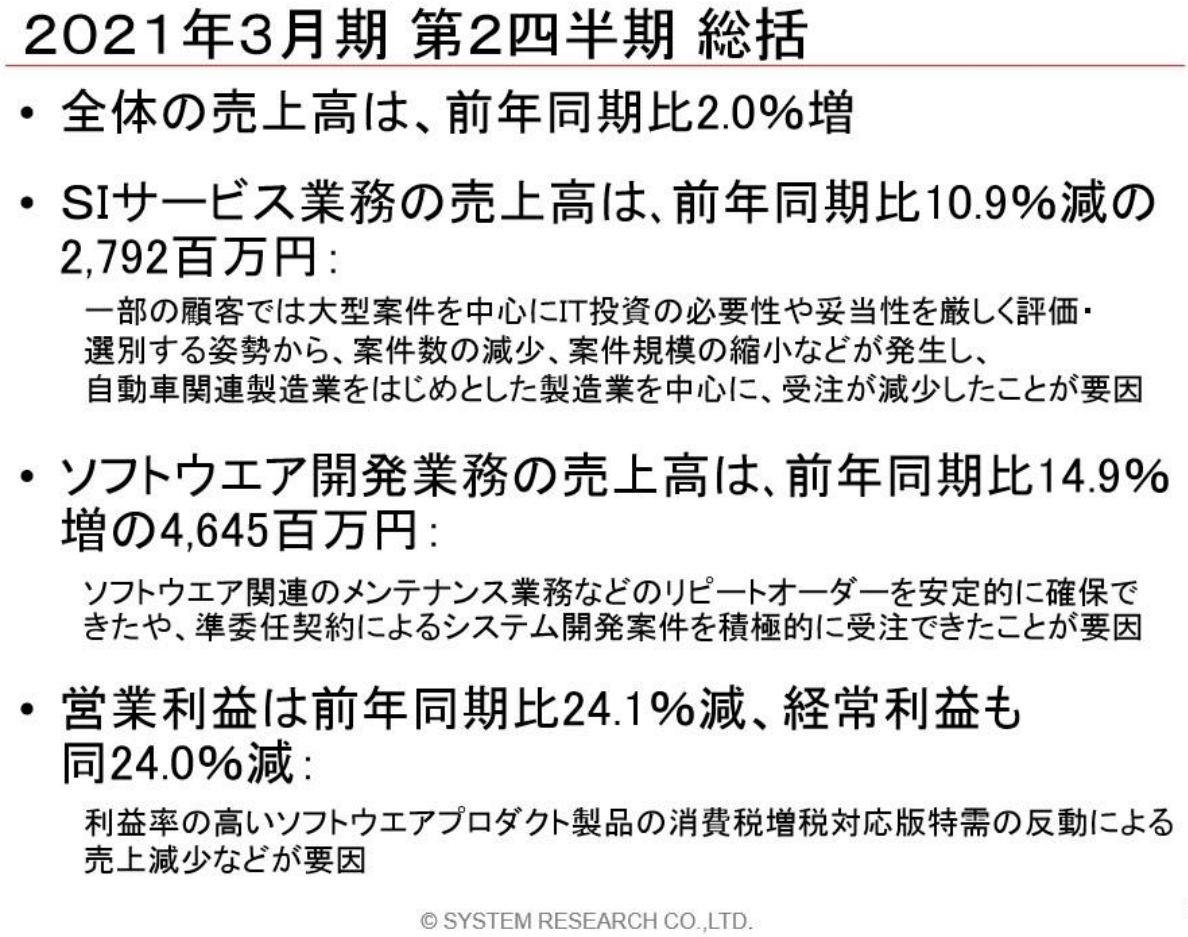
	売上高比(%) 2020年3月期 第2四半期 (2019/4～2019/9)	売上高比(%) 2021年3月期 第2四半期 (2020/4～2020/9)	前年同期増減比
売上高	7,625	7,781	2.0%
売上原価	78.0% 5,950	80.5% 6,267	5.3%
売上総利益	21.9% 1,674	19.4% 1,514	△9.5%
販売管理費	12.7% 970	12.6% 980	0.9%
営業利益	9.2% 703	6.8% 533	△24.1%
経常利益	9.2% 705	6.8% 535	△24.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6.3% 481	4.6% 364	△24.2%

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

10

続きまして、第 2 四半期実績サマリーでございます。

2021 年第 2 四半期の売上高は、前年同期比 2.0%増の 77 億 8,100 万円になりました。営業利益につきましては、前年同期比 24.1%減の 5 億 3,300 万円。経常利益は 5 億 3,500 万円でございます。



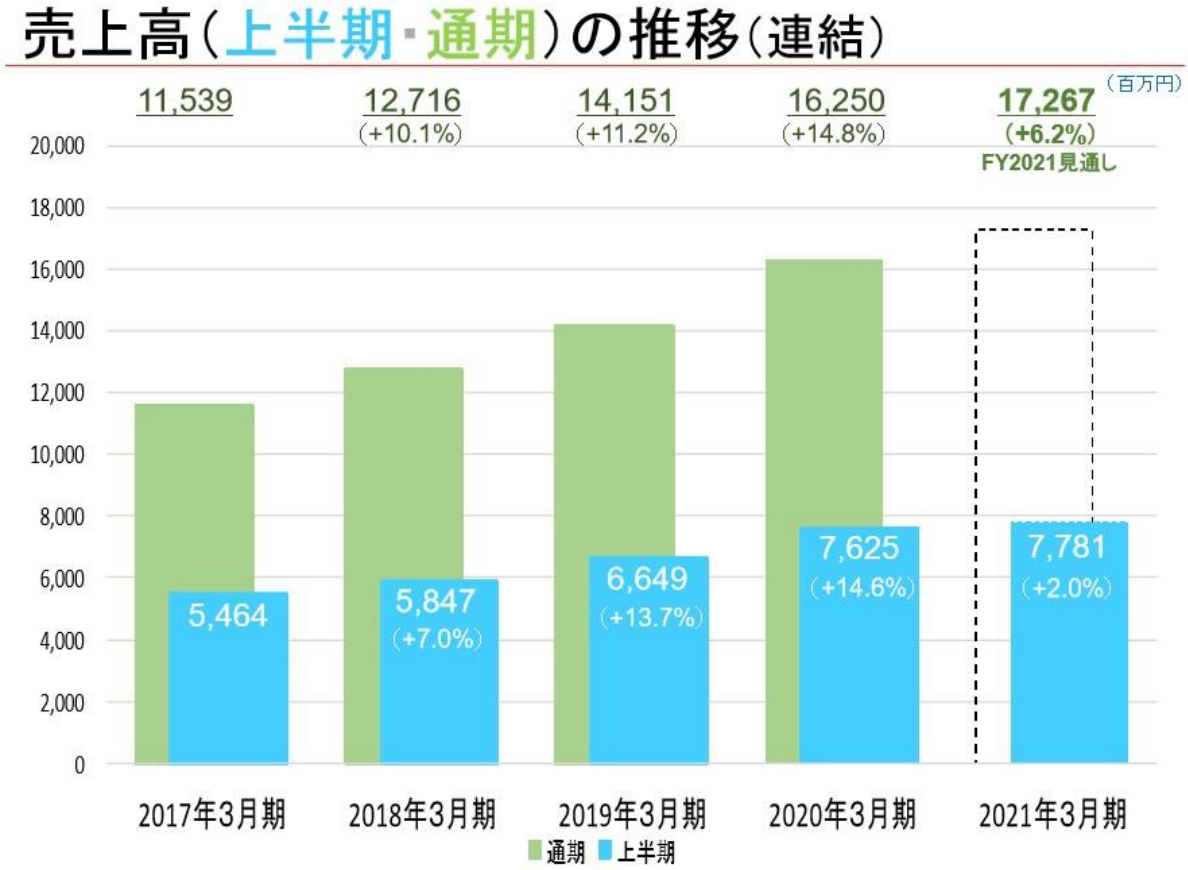
続きまして、第 2 四半期の総括です。

全体の売上高は、前年同期比 2.0%伸びましたが、その中で SI サービス業務の売上高は、前年同期比 10.9%減になりました。これはお客様の業績が少し悪化したりしておりますので、情報投資予算の圧縮もあり、案件が延期になったり規模を見直したりしたことで、新規の SI 案件の開発が減少したことが要因でございます。

ソフトウエア開発業務につきましては、前年同期比 14.9%増。46 億 4,500 万円でございます。ソフトウエア開発業務は、ソフトウエア関連のメンテナンス業務など、リピートオーダーを安定的に確保して、システム開発の案件を受注できたことが要因でございます。

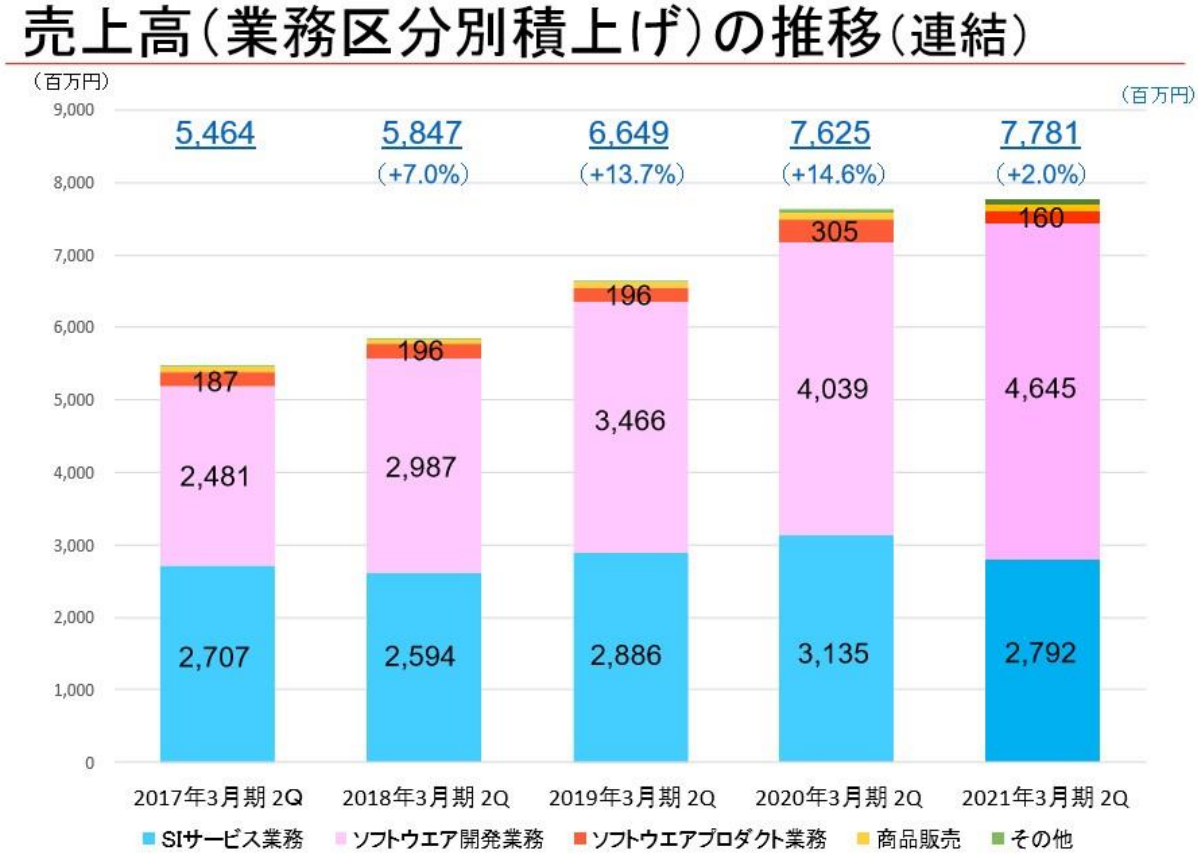
営業利益は前年同期比 24.1%減。経常利益も 24.0%減でございます。

主な要因は 2020 年 3 月期、前期は消費税増税がございました。それに伴って、プロダクト業務の売上が非常に伸びた期でございました。プロダクト販売の利益率は高収益でございまして、前期の消費税増税対応の特需の反動による売上減が、今期営業利益の減少となった主な要因でございます。



売上の上半期・通期の推移でございます。

2012 年 3 月期から 9 期連続の増収となっております。今期上期は 2.0%の増で 77 億 8,100 万円、2021 年 3 月期の見通しは前期比 6.2%増の 172 億 6,700 万円を予想しております。



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

売上高の、業務区分別の推移でございます。

ブルーのところが SI サービス業務、ピンクの部分がソフトウエア開発業務でございます。このグラフを見ていただくと分かるように、SI は案件の延期・縮小等で少し落ちておりますが、リピートオーダーのシステム開発のほうは伸びております。

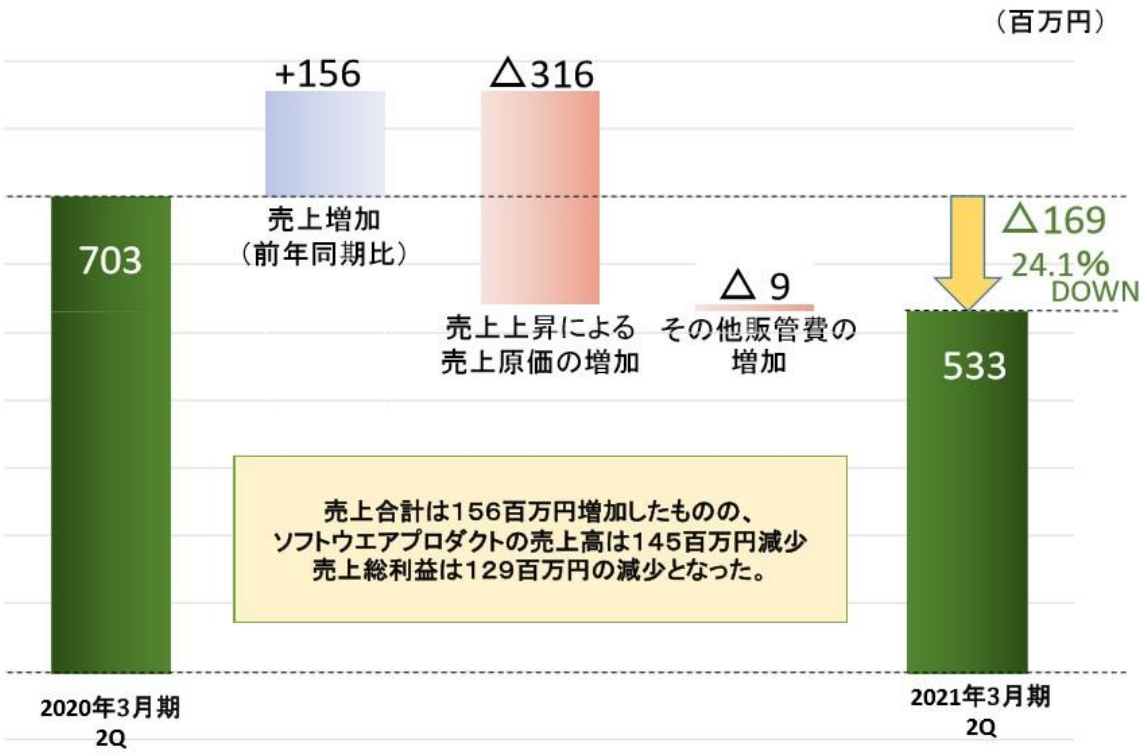
サポート

日本　03-4405-3160　米国　1-800-674-8375

フリーダイアル　0120-966-744　メールアドレス　support@scriptsasia.com

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally

営業利益の分析(連結)



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

営業利益の分析でございますが、上期は前期比 1 億 6,900 万円の減少となっております。前年同期営業利益 7 億 300 万円。前年同期に比べ、売上増加は 1 億 5,600 万円、売上上昇による売上原価の増加は 3 億 1,600 万円、また販管費も 900 万円の増加となり、利益を押し下げました。

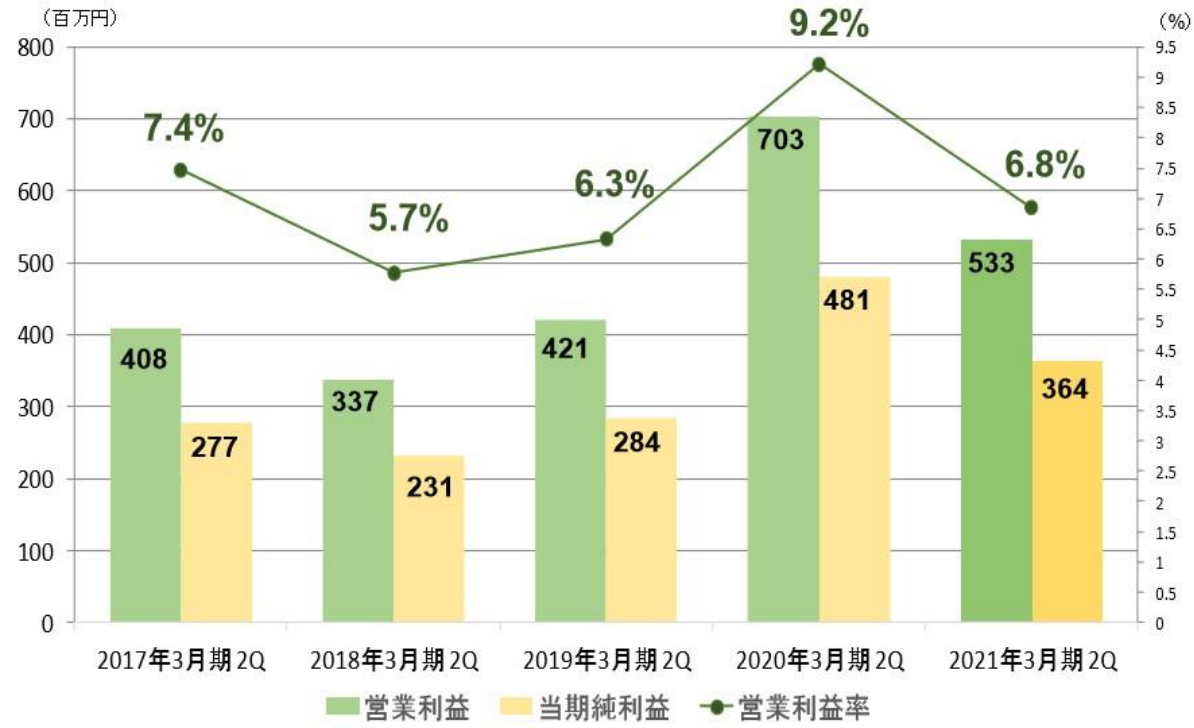
要因としては先ほど申し上げました、ソフトウエアプロダクト製品の消費税増税対応、前期の特需、その反動が要因として挙げられます。

サポート

日本　03-4405-3160　米国　1-800-674-8375

フリーダイアル　0120-966-744　メールアドレス　support@scriptsasia.com

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

営業利益・当期純利益の推移でございます。

2020 年 3 月期を見ていただくと、営業利益率は 9.2%、緑色が営業利益、黄色が当期純利益、上半期の数字でございます。ちょうど 10 月に消費税増税があり、その特需でソフトウエアプロダクトが 2020 年は非常に伸びております。その分 2021 年 3 月期は、先ほど述べたようにその反動で利益を押し下げております。

今期 2021 年 3 月期通期見通しは、営業利益 17 億 3,800 万円、当期純利益 11 億 6,500 万円を予定しております。営業利益率は 10%の予定でございます。

営業実績

【売上高上位10社】

(単位:百万円)

販 売 先	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期		増 減	
	販売金額	構成比	販売金額	構成比	金額	伸率
㈱トヨタシステムズ	1,105	14.4%	1,057	13.5%	△47	△4.3%
㈱豊通シスコム	405	5.3%	445	5.7%	39	9.8%
㈱日立製作所	402	5.2%	396	5.0%	△6	△1.6%
SCSK㈱	358	4.6%	390	5.0%	32	9.1%
富士通㈱	343	4.5%	286	3.6%	△56	△16.5%
㈱エスケイエム	194	2.5%	265	3.4%	70	36.2%
豊田通商システムズ㈱	151	1.9%	249	3.2%	98	65.2%
ヤマトシステム開発㈱	183	2.4%	231	2.9%	47	25.7%
日本アイ・ビー・エム㈱	251	3.3%	215	2.7%	△35	△14.3%
コベルコシステム(株)	141	1.8%	174	2.2%	33	23.4%
その他	4,087	53.6%	4,068	52.2%	△18	△0.4%
合計	7,625	100%	7,781	100%	156	2.0%

注) 連結での構成比です。
㈱エスケイエムは豊田自動織機の子会社です。
豊田通商システムズ㈱ならびに㈱豊通シスコムは、豊田通商㈱の100%子会社です。

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

16

続きまして、営業実績についてです。各ユーザーの売上推移はご覧ようになっております。伸びているところがあったり、減少しているところもありますが、一番のメインユーザーであるトヨタシステムズ様は 4.3%の減少と上期はなっております。下期からまた盛り上がる、増えてくると予想をしております。

この 10 社で 37 億 1,300 万円、連結売上で 47.7%を占めております。約半分近い売上を、上位 10 社で占めております。

連結バランスシート（サマリー）

	2020年3月末	2020年9月末	前期末比増減
現金および預金	5,367	5,475	107
売上債権	3,259	2,488	△770
たな卸資産	93	225	131
その他の流動資産	78	100	21
有形固定資産	1,059	1,035	△23
無形固定資産	121	123	1
投資その他の資産	712	710	△2
資産合計	10,692	10,159	△533
買掛金	678	595	△82
短期有利子負債	789	982	192
未払法人税等	374	218	△156
その他の流動負債	1,868	1,432	△436
長期有利子負債	686	683	△3
負債合計	4,398	3,912	△486
純資産	6,294	6,246	△47
負債純資産合計	10,692	10,159	△533

（百万円）

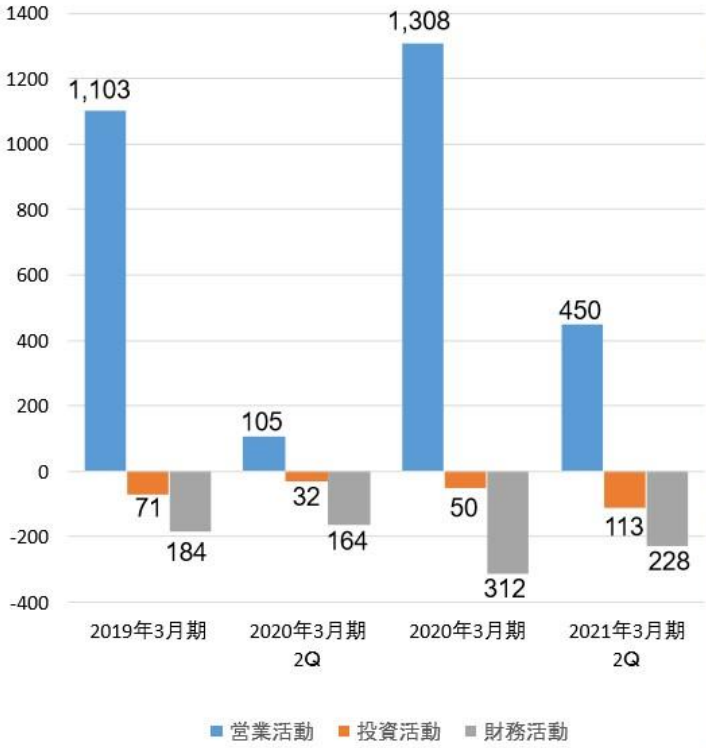
© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

17

続きまして、連結のバランスシートでございます。

総資産は 101 億 5,900 万円となりました。負債は 39 億 1,200 万円でございます。純資産は 62 億 4,600 万円となっております。

連結キャッシュ・フロー



（百万円）

■2021年3月期 第2四半期 主内訳

営業キャッシュフロー

	主内訳	前年同期差
当期純利益	535	△169
減価償却費	58	△5
賞与引当金	△177	△34
棚卸資産	△131	△47
売上債権	764	662
仕入債務	△74	△42
法人税等支払額	△322	△148

投資キャッシュフロー

	主内訳	前年同期差
有形固定資産の取得	△77	△38
無形固定資産の取得	△36	△7

財務キャッシュフロー

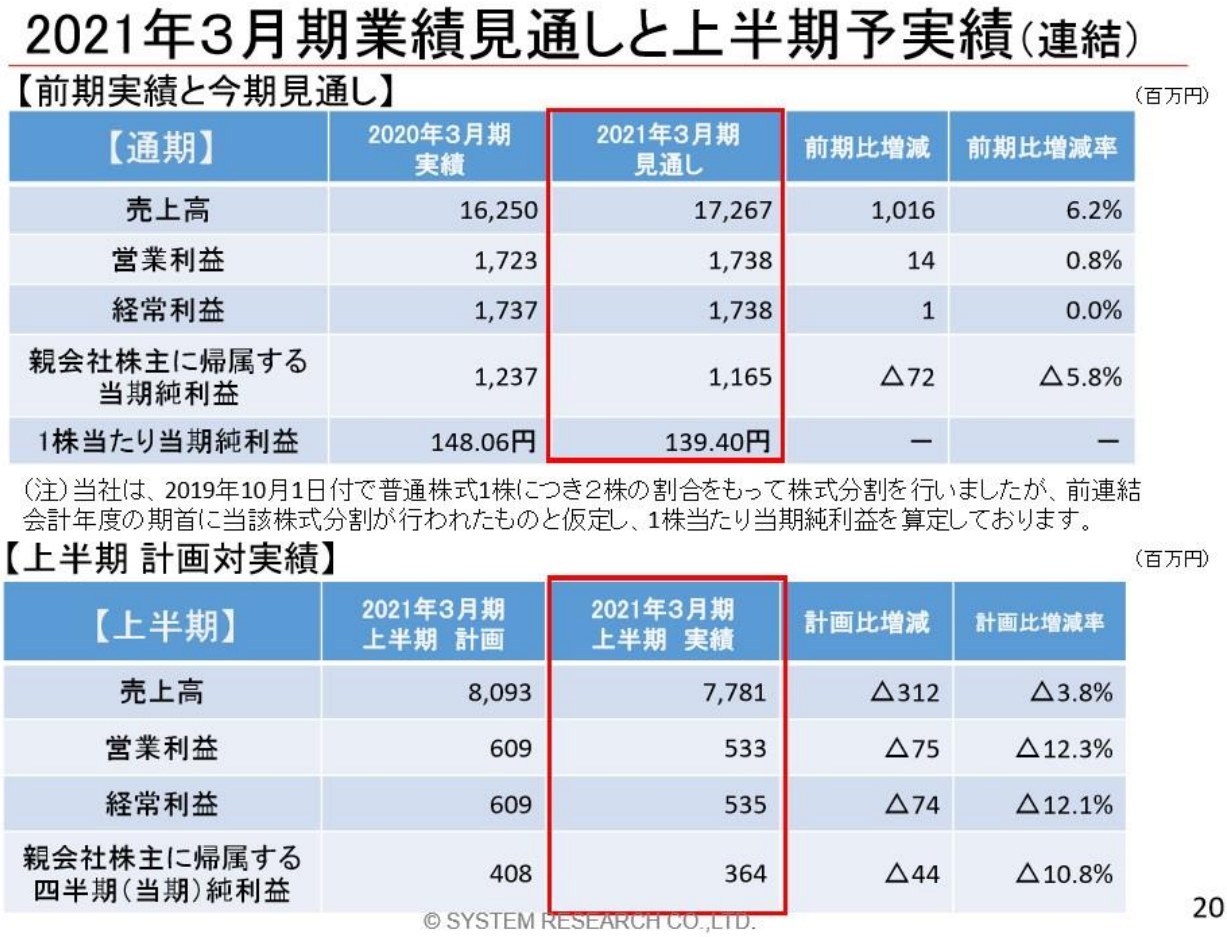
	主内訳	前年同期差
長・短期借入れによる収入	940	100
長・短期借入金返済による支出	△750	2
配当金の支払	△417	△167

© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

18

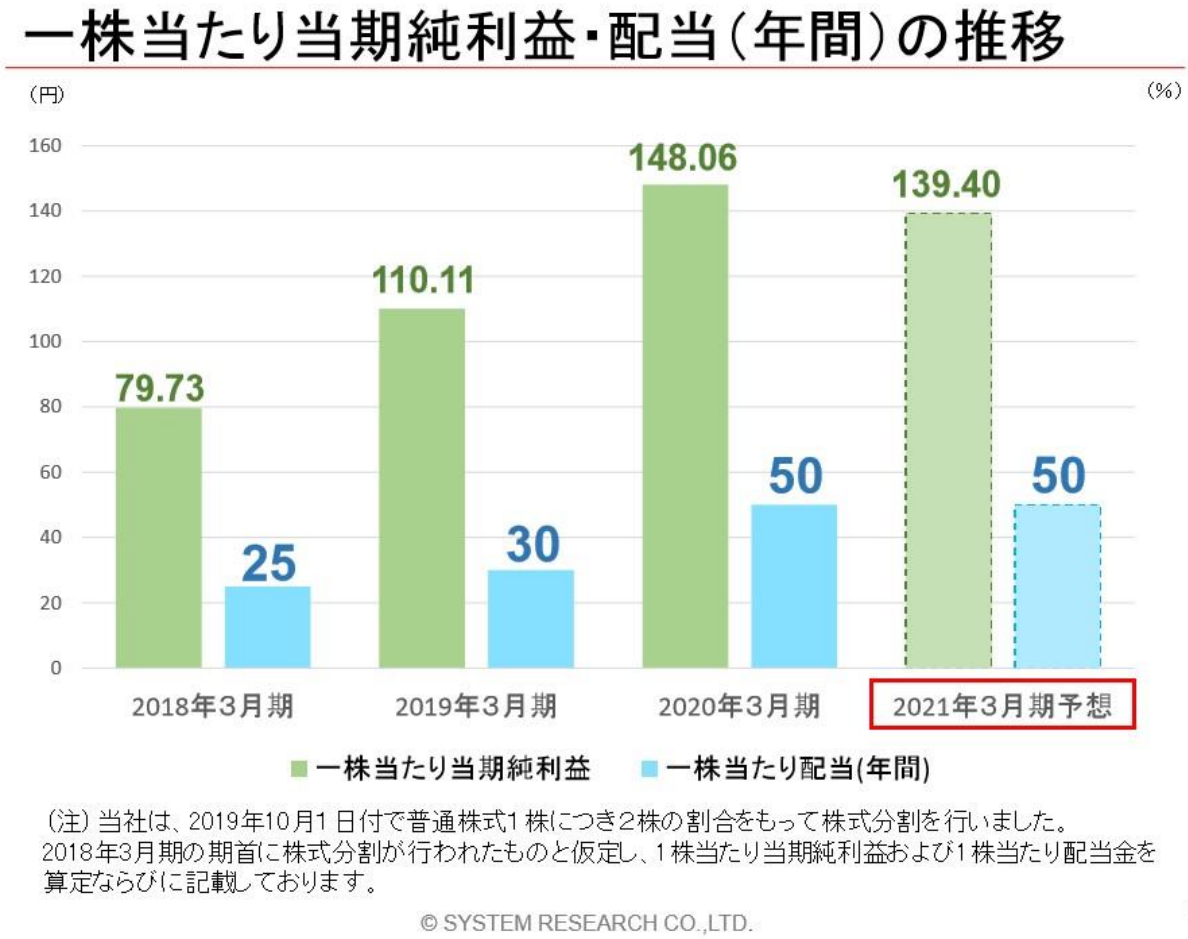
続きまして、連結キャッシュ・フローでございます。

営業活動による資金は 4 億 5,000 万円。投資活動により減少した資金は 1 億 1,300 万円でございます。財務活動により減少した資金は 2 億 2,800 万円です。



続きまして、2021 年 3 月期業績の見通しです。

上段は通期の実績と 2021 年 3 月期見通しを示しております。下段は 2021 年 3 月期上半期の計画値と実績を示しております。通期見通しにつきまして、業績の予想を変更する予定は今のところございません。

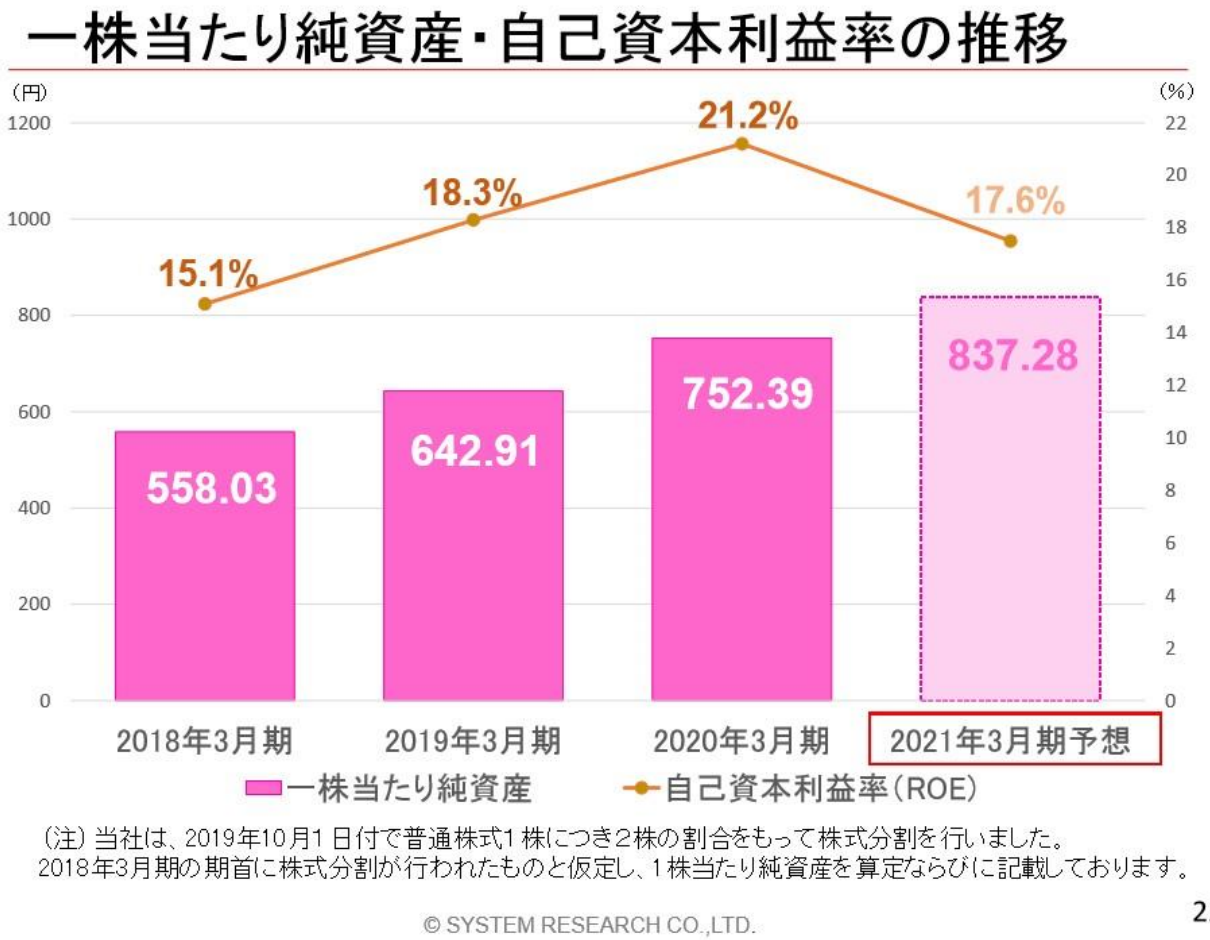


一株当たりの当期純利益・配当の推移でございます。

2019 年 10 月 1 日付けで、普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行いました。配当金は 2018 年 3 月期の期首に株式分割が行われたものと仮定して、算定して記載しております。

2021 年 3 月期の一株当たり当期純利益は 139.40 円を予想しております。

過去 3 年間、実際の配当額は株式分割を考慮いたしますと、2018 年が 25 円、2019 年が 30 円、2020 年が 50 円、2021 年も 50 円を予想しております。

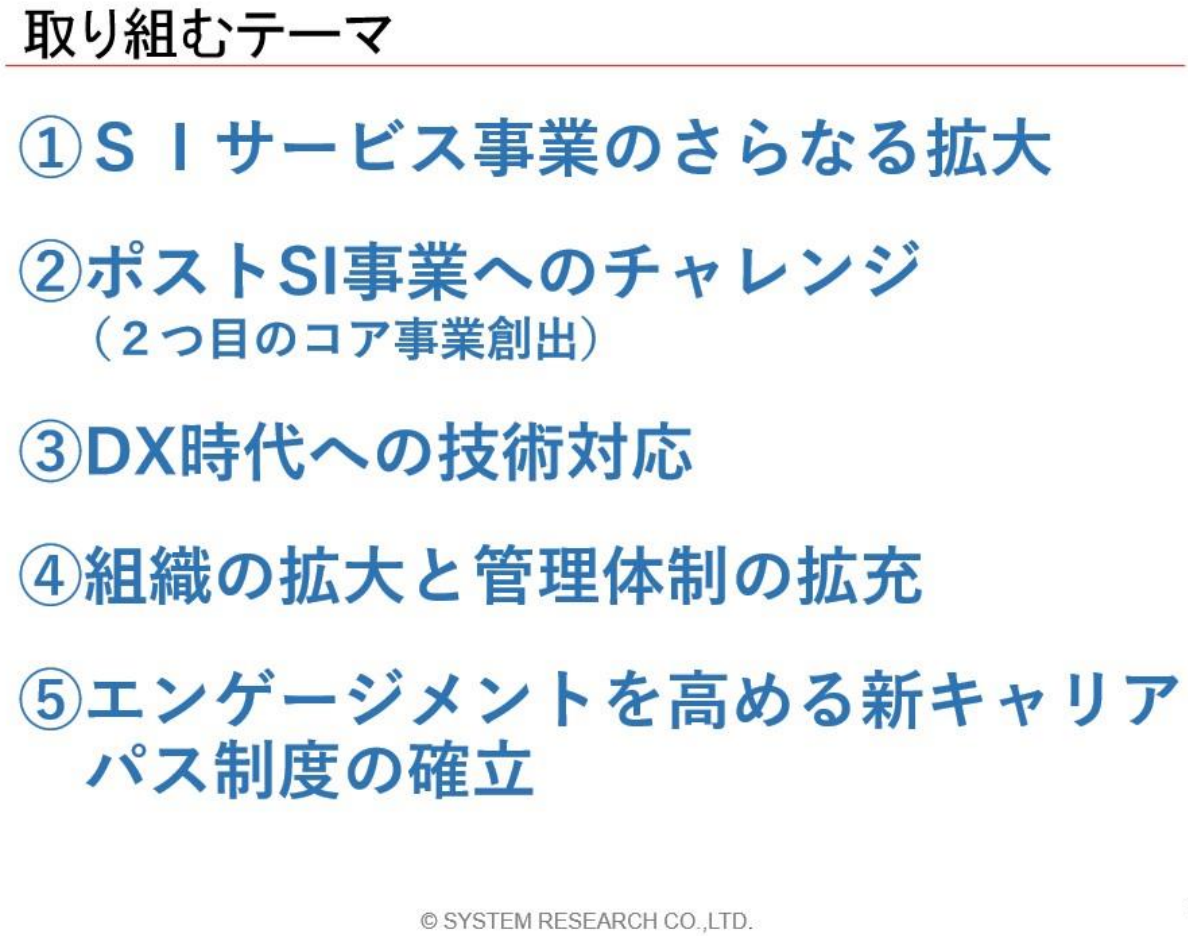


2021 年 3 月期の一株当たり純資産 84 円 89 銭増の 837 円 28 銭を予想しておりますが、ROE は 17.6%で予想しております。同業者と比べましても遜色ない ROE だと認識しております。



続きまして、41 期の基本方針でございます。

Society5.0 超スマート社会、SDGs、ESG など当社を取り巻く環境、社会問題や経済情勢、技術革新、それに加えて今コロナの感染拡大など、大きく変化していく中、当社は「継続的な利益確保、企業価値向上、雇用の安定」、この 3 つを基本ポリシーとしております。



実際に取り組むテーマを五つ掲げております。

一つ目は、主力の SI サービス事業の拡大でございます。本社は名古屋地区ということもありまして、まだまだ関東、関西圏の優良企業様へのアプローチ、社会インフラ系、官公庁系、通信分野など、SI のマーケットは拡大できると考えております。

二つ目は、ポスト SI 事業へのチャレンジ。今主力になっているのは SI 事業とシステム開発ですが、この二つは労働集約的な側面が強い事業でございます。将来を見据えて、SI やシステム開発の他に、異なるスキームやビジネスモデルを模索して、二つ目の事業の柱を育てていきたいと考えております。

ウェブ技術のクラウドやプロダクト事業や AI、RPA などのビジネスチャンスがあると考えております。これらは全て自前でやるというスタンスではなくて、業務提携や M&A など、外部との連携も視野に入れて考えています。

三つ目は、DX 時代への技術対応。経済産業省の DX レポートによると、2025 年には IT 人材が 43 万人不足すると言われております。また競争力維持・強化のために DX 関連の技術の習得により、

顧客要求に応えられるスキル、人材育成を行って、DX 時代を勝ち抜いていきたいと考えております。

四つ目は、組織の拡大と管理体制の拡充。ビジネスの拡大と企業リスクのマネジメントは表裏一体です。コンプライアンスの徹底や社会的責任も重要になってきます。2,000 名規模に見合う管理体制を構築して、コーポレート・ガバナンスの向上や当社自身の DX 化も図っていきたいと考えています。

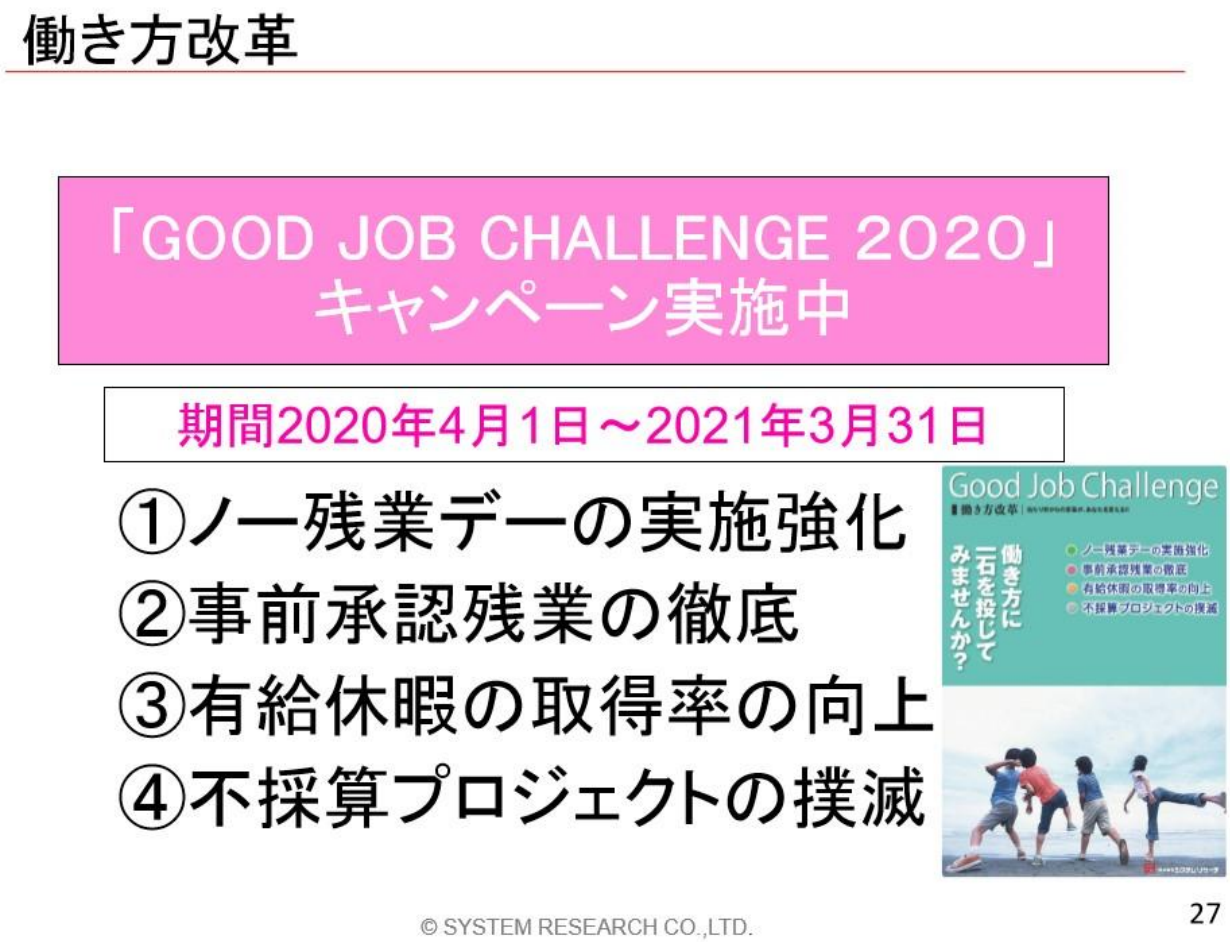
五つ目は、エンゲージメントを高める新キャリアパス制度の確立。IT 業界は人材が企業の成長を左右します。経営理念やビジョンを共有して社員の連帯感を高め、会社と社員が共に成長していかなければなりません。

企業と社員の間だけでなく、上司、部下、社員と社員の間にも信頼関係や連帯感を持って、仕事の成果を上げたいとか、この会社で成長したい、そういったモチベーションに変えていかなれければならないと思っています。そのために、一人一人のキャリアの可視化、適性評価、人材育成が不可欠となっています。



当社の SDGs に対する取組みでございます。

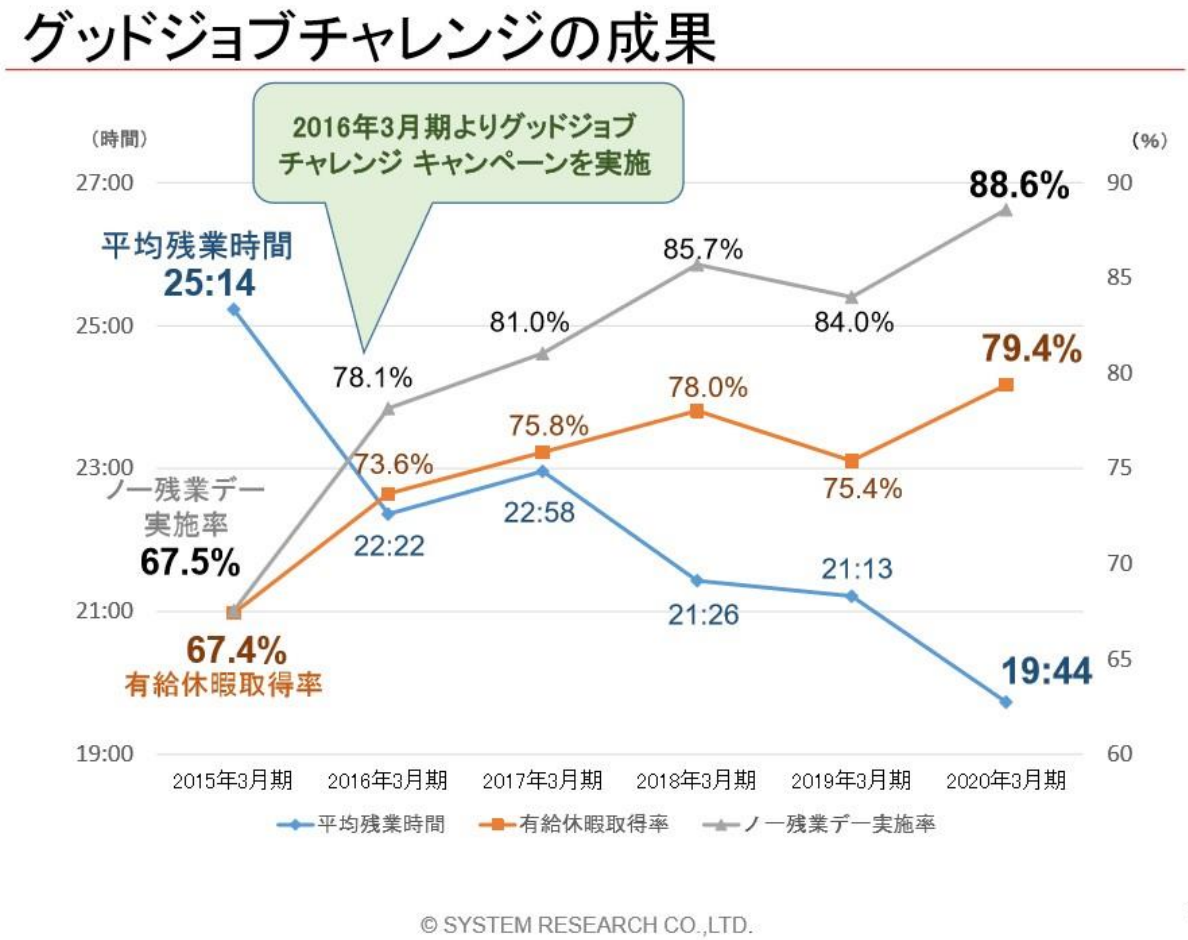
環境では、当社の SI サービスを通じて、社会課題の解決に貢献してまいります。社会では、人材育成、働きやすい環境づくりを行います。ガバナンスでは、事業継続性を高め、企業価値の増大を図ります。



当社の働き方改革でございます。

2016 年から開始しております GOOD JOB CHALLENGE を今期も継続しております。

当社の GOOD JOB CHALLENGE キャンペーンは、厚生労働省が開設した働き方改革や、休み方改善ポータルサイトでも紹介されております。愛知労働局が開設した、あいち働き方改革の特設ページでも当社の事例が好事例として紹介されました。



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

28

グッドジョブチャレンジの成果についてです。ブルーの部分が残業時間、グレーの部分がノー残業デーの実施率、オレンジが有給休暇の取得率でございますが、確実にノー残業デーの実施率、有給休暇の取得率は上がっております。

平均残業時間も毎年減少傾向になっておりまして、グッドジョブチャレンジの成果は出ていると考えております。

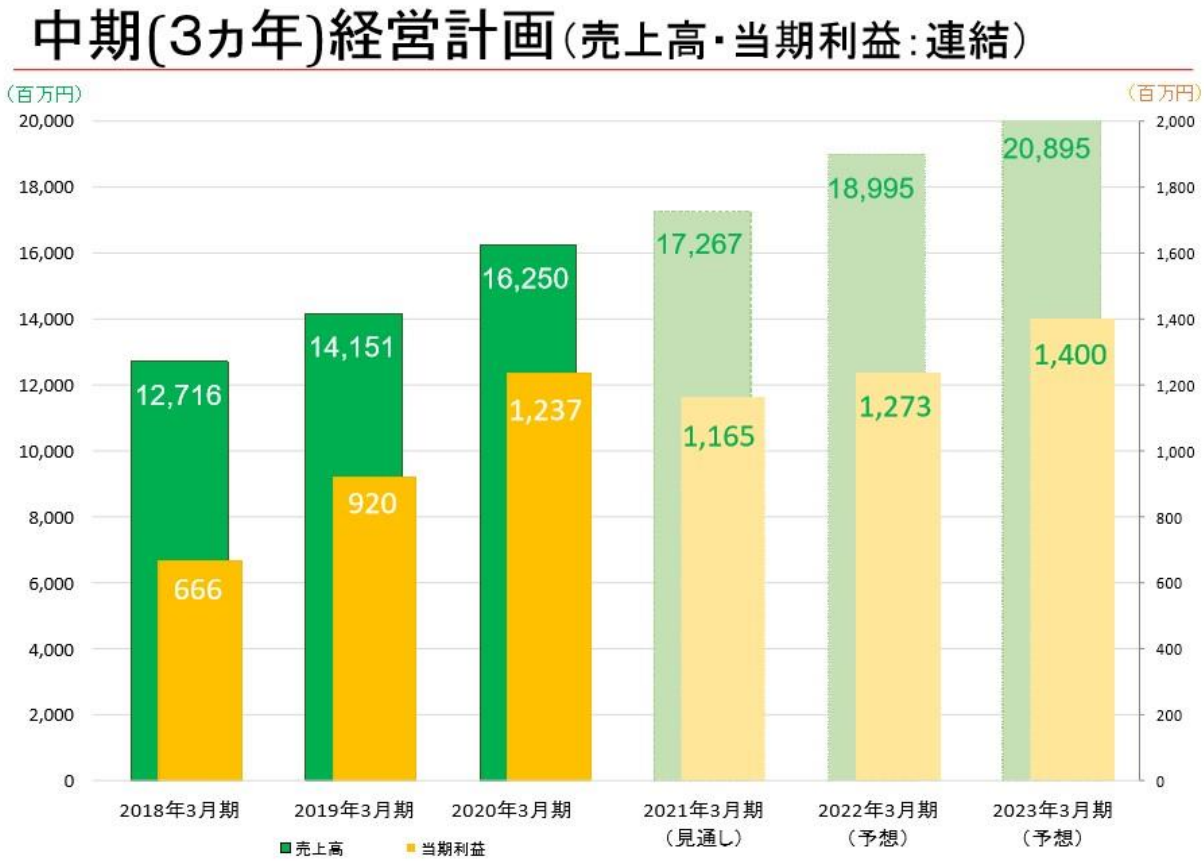


女性活躍・両立、仕事と生活の調和についての取組みをお話しします。

厚生労働省が支援する女性の活躍推進に賛同して、女性の活躍推進を宣言しております。

女性正社員の割合は 23.8%、今期来年 4 月の新卒採用も約男女半々ぐらいになります。課長相当以上を占める女性の割合は 6.3%、また、取締役 2 名、執行役員 1 名が女性でございます。

内閣府の、輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会の行動宣言にも賛同しております。その他、カエル！ジャパン、各県・各市・区の認定企業に認定されたり、参画したりしております。



続きまして、中期経営計画と当社ソリューションの紹介です。

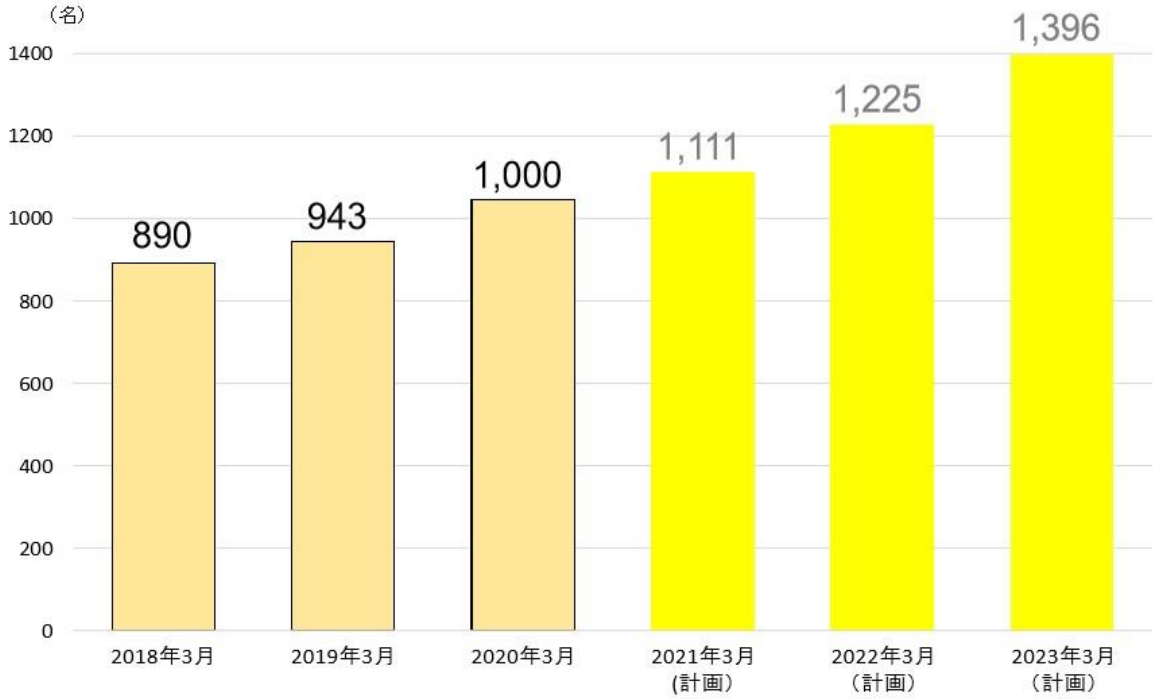
過去 3 期の実績と中期経営計画。連結売上高、連結当期利益を記載したグラフになります。

2020 年 3 月期は、売上高 162 億 5,000 万円、先ほどご説明したイリイのプロダクトの特需もありまして、14.8 増%。当期利益も 12 億 3,700 万円となりました。前年比、34.4%増の 9 年連続の増収増益となっております。

2021 年 3 月期の見通しは、売上高 172 億 6,700 万円、6.2%増。連結当期純利益は 11 億 6,500 万円。前期比マイナス 5.8%の見通しでございます。

2023 年 3 月期の計画は、売上は、前期比 10%増の 208 億 9,500 万円、当期利益は 10%増の 14 億を予想しております。

来期以降の連結従業員数の計画



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

従業員の採用ですけれども、従業員 2,000 名体制に向けて、採用担当を東京・関西にも専任担当を置いて、新卒中途の採用を拡大しております。

一部上場企業としての安定感、プラス、ベンチャー企業のように拡大していく中、当社のやりがいは大きなアピールポイントになると考えております。

サポート

日本　03-4405-3160　米国　1-800-674-8375

フリーダイアル　0120-966-744　メールアドレス　support@scriptsasia.com

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally

プロダクト商品のご紹介

✡ イリイソリューション部の主なパッケージ



© SYSTEM RESEARCH CO.,LTD.

33

プロダクト事業、イリイソリューション部のパッケージのご紹介をします。

イリイソリューション部の主なパッケージでございます。ウォームプラスはブラウザをベースにした顧客管理システムです。

Simplex、通販業向けの販売管理・顧客管理の統合ソリューションです。いわゆる通販のバックオフィス系のシステムです。

CTI コネクテル。SFA や CRM にシームレスに連携する CTI のシステムです。

その他に、中小企業向けに販売管理、顧客管理、財務会計、給与計算などの BIG シリーズも揃えております。



EC のサービス業務のご紹介です。

Web サイトの運営ビジネスとして、当社ではネットショップを簡単に開業できるクラウドサービス、イージーマイショップをリリースしております。中小企業様や個人事業主を中心に、幅広いお客様にご利用いただいております。

また、イージーマイショップの専用決済サービス、イージーペイメントは、導入・月額固定費は無料で、クレジットカード決済・コンビニ決済にも対応となっており、お客様の多様なニーズにお答えするサービスになっております。

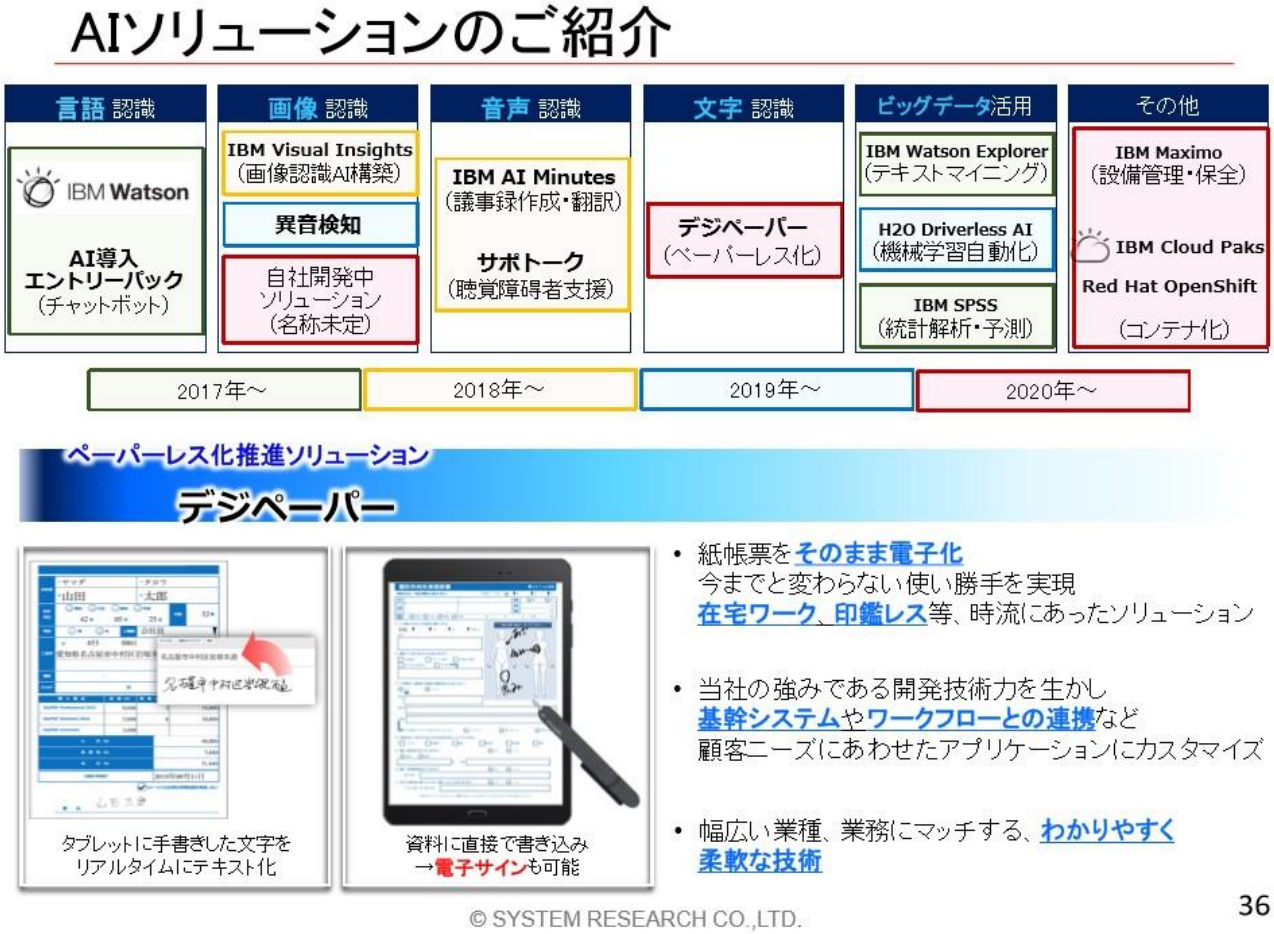
EC 支援サービスのビジネスモデルとしては、決済手数料とクラウドの月額ライセンス料というビジネスモデルです。



続きまして、RPA+AI-OCR、書類業務効率化ソリューションでございます。

RPA とは、ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、ホワイトカラーのデスクワークをソフトウエア型のロボットが代行する自動化の概念です。

AI-OCR とは、通常の OCR を AI に用いることによって、収集した大量の文字データから文字の特徴をディープラーニングし、高度な文字認識を可能にするソリューションです。あらゆる書類を自動化し、お客様の業務改善、働き方改革に貢献しています。



AI ソリューション事業の紹介です。

当社の AI 事業は、IBM の Watson を簡単に導入できる AI 導入エントリーパック、聴覚障碍者を支援するサポトーク、また会議内容をスピーディーに解析して文字化をしたり、同時通訳することも可能です。

今年特に注力しているのは、自社開発中の画像認識ソリューションで、ペーパーレス化推進ソリューション、デジペーパーでございます。

近頃コロナの影響で在宅ワークが急速に増えており、紙や印鑑文化の見直しを行う企業が増えています。デジペーパーを導入していただければ、今まで紙で運用していた申請書や作業報告書、日報、棚卸し帳票など、さまざまな帳票をその使い勝手のまま電子化することができます。

お客様もペーパーレス化によって運用コストを非常に抑えることもできて、テレワークにも対応できるというシステムソリューションでございます。



最後になりますが、AI の当社の取り組みが IBM ビジネスパートナー・エグゼクティブフォーラムで受賞いたしました。国内約 1,500 社ある IBM パートナー企業から、当社を含む 12 社が選ばれております。

当社は、その中でも今年の注目ワードである DX、Excellence Digital Transformation Award の分野で表彰いただいて、そのことがさまざまなメディアに掲載されております。

以上、システムリサーチ決算説明会の説明をさせていただきました。ありがとうございました。

質疑応答

司会：平山様ありがとうございました。それでは質疑応答に入ります。

なお、この IR ミーティングは質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定でございます。従って質問の際、会社名氏名を名乗られますとそのまま公開されますので、匿名を希望される場合はご留意いただければと思います。

それではご質問のある方、挙手願います。マイクをお持ちいたします。

質問者：すみません、お願いします。下期および来期のセグメント別の考え方、コメントいただければと思います。

例えばこの下期ですけれども、上期の受注状況を見ますと、この下期 SI がちょっとマイナスになってソフトウエアがプラスになるのかなとか、そういうイメージができるんですけれども。もう少し社長様から下期の状況および来期のセグメント別、コメントをいただければと思います。

平山：ご説明申し上げたように、メインの業務が SI サービスとシステム開発でございまして、上期 SI サービスのほうが前年に比べると少し減少して、システム開発のほうが伸びたという結果でございます。

トヨタさんも業績が底を打って、今、回復状態にあります。特に中部地区の製造業さんは、各社いろいろ業績のばらつきはありますが、東海地区の景況感も底を打ったという認識をされております。

IT 投資につきましては、もともとのレガシーシステムをスクラッチ開発しなきゃいけないとか、2025 年の崖の対応で、DX 対応をしていかなきゃいけないという、いわゆる投資の需要はもともとすごく多くて、われわれのビジネスチャンスは非常に多いと思っております。

ただ、今期はコロナの影響で、お客様自身の業績が下がってしまっていましたので、IT 投資の需要は非常に強いですが、少し様子を見ようかということで、縮小したり延期したりという状態が、上期だったと思っています。

なので、新しいシステム案件が上期は少し減りました。ただ、その分下期に向けて、コロナの関係の状況も注意していかなければならないと思いますが、お客様の業績も回復してくるだろうと思っています。そうなれば、もともと予定していたシステム投資がまた元に戻ってくると思います。

計画していたものが、上期は延長なり縮小となりましたが、全くなくなったわけではなく、潜在ニーズとしては、すごくたくさん残っております。

どこか経済状況・コロナの関係が回復した時点、あるいは今の状況に合ったお仕事のされ方をして業績が回復してくれば、もともとあった IT 投資のニーズは、従来どおり増えてくるのかなと思っています。区分で言いますともともとは SI サービスとシステム開発は 50:50 ぐらいの割合でしたので、それに戻ってくるのかなと思っています。

質問者：ありがとうございます。

司会：それでは他にご質問のある方いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それではご質問ないようですので、以上をもちまして株式会社システムリサーチ様の IR ミーティングを終了いたします。

皆様ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

平山：ありがとうございました。

［了］

脚注

1. 音声が不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。